

## 学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	<p style="text-align: center;">黄 美蘭</p> <p style="text-align: center;">【比較社会文化学専攻 平成22年度生】</p>	<p>本研究は中国人日本語学校生と私費留学生を対象に、アルバイト先における被差別感の原因帰属と日本人との間接的接触、また、被差別感の原因帰属と間接的接触の関連について比較検討を行うことを目的とした。第1章から第3章までは、中国人の海外留学のプッシュ要因とプル要因、中国人留学生受入れの推移、異文化接触の際に生じる心理的問題、被差別感の研究動向について概観した。第4章では偏見・差別に関わる諸理論について概観し研究課題を設定した。第5章では自由記述による質問紙を用い中国人日本語学校生がアルバイト先で認知する被差別感の事例とその原因帰属について質的分析を行った。中国人日本語学校生は日本人の店長・利用客・アルバイト同僚から被差別感を抱き、その原因を外国人・中国人の個人と集団、日本人の個人と集団、及び文化要因に帰属させる傾向が見られた。第6章と第7章ではアルバイト先で生じる被差別感事例から、典型的だと思われる2つのシナリオ場面を設定し、中国人日本語学校生と留学生を対象に質問紙調査を行った結果、日本語学校生においては中国人と日本人の相互関係が友好的でないと認識し、日本人の友人が少なく日本語能力が低い人は、日本人への偏見が生まれアルバイト先の処遇に高い被差別感を抱くことが示された。一方、留学生においては日本人との相互関係を否定的に認識し年齢が高い人がアルバイト先における処遇に高い被差別感を抱く傾向が見られた。第8章では、被差別感の原因帰属と日本人との間接的接触の因子構造、および両者の関連結果について、中国人日本語学校生と留学生の比較検討を行った。その結果、日本語学校生と留学生の共通点として、日本人との間接的接触を否定的に認識する場合、被差別感の原因を日本人側に帰属させ、肯定的に認識する場合、原因を自分自身に帰属させる傾向が見られた。相違点としては、日本語学校生は否定的な間接的接触や日本人の友人の人数及び日本語能力の影響を受けており、留学生は肯定的な間接的接触と年齢の影響を受けていることが明らかにされた。以上の実証研究の結果を踏まえ、第9章では総合的考察として中国人日本語学校生と留学生の特徴を踏まえ、コミュニティ心理学の理念に基づいた支援のあり方を提示した。</p> <p>審査は左記の5名の審査委員により3回行なわれた。審査委員会では、審査員が一様に研究課題に即した明晰かつ総合的な分析がなされており、中国人留学生の被差別感と間接的接触を心理・社会・文化的側面から検討した独創性の高い論文であると評された。また、方法論的にも質的・量的調査を用いており、研究結果の妥当性が高く評価された。しかし、冗長な表現や形式的な面での若干の修正が指摘されたため、これらを踏まえ修正を行い1月初旬に再審査を行った。その結果、適切に修正が行われたため、2014年2月10日に公開発表会と最終審査が行われた。公開発表会では、明快かつわかりやすい発表がなされ、参加者や審査委員の質問に対しては真摯な態度で的確に応答した。最終審査委員会では、本研究は異文化間教育、留学生教育支援に貢献するものとして高く評価され、博士（人文科学：Ph.D. in Intercultural Education）として認定するに十分であると、全員一致で学位授与を決定した。</p>
論文題目	<p style="text-align: center;">アルバイト先における被差別感の原因帰属と間接的接触 —中国人日本語学校生と私費留学生の場合—</p>	
審査委員	<p style="text-align: center;">(主査) 教授 加賀美 常美代</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 内藤 俊史</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 佐々木 泰子</p>	
	<p style="text-align: center;">教授 岸本 美緒</p>	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・㊦）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">㊦. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	

